

授業科目名 (ナンバリングコード)	アウトドアスポーツ実習（冬季） (133A0-4217)		授業形態	実技		授業科目区分		専門科目 (関連実技科目)					
担当教員名	坂口 俊哉・高橋 仁大・日下 知明、未 定					補助担当者名							
単位数	1 単位		履修年次	2年次		受け入れ人数		40名程度					
授業の概要	冬季のアウトドアスポーツとして、スキーを中心に実施する。雪上スポーツの実施を通して、冬季における野外活動の意義と指導の実際を学習する。実習地は、妙高高原スキー場を予定している。実習参加費（一人50,000円程度）が必要となる。 実習日程：2022年2月18日から21日（3泊4日） COVID-19の感染拡大状況などを考慮して、実施内容を変更する可能性がある。変更した場合でも、履修継続できることを前提として履修を決定すること。 変更後の実習内容については別途掲載する「アウトドアスポーツ実習（変更時）」に記載してあるので必ず読んでおくこと。												
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法									
	D Pで 目指す 資質・ 能力	実技力、事業運営力、リーダーシップ (実技力、コミュニケーション力、一般教養・倫理)	授業期間				定期 試験	その他	割合 %				
			授業	テスト	レポート	発表							
		■認知的領域	実習内容に対する理解、より実践的な指導に必要な専門的知識を身につける。	○		○						○ (日誌)	30
		■情意的領域	積極的に授業に参加する。実習の参加状況。	○								○ (日誌)	30
■技能的領域	実践体験を通じて、スキー技能を習得する。	○	○					40					
成績評価の基準	実習参加前後でのレポート評価、実習先での参加状況と評価から総合的に評価する。												
テキスト、教材 参 考 書	日本スキー教程、公益財団法人全日本スキー連盟 山と溪谷社、2020												
履修条件・ 関連科目	実習日程：2022年2月18日から21日（3泊4日） 場 所：新潟県妙高高原 実習参加費として一人50,000円程度必要となる。後期（10月下旬）にガイダンスを行う。詳細については12月開催予定のガイダンスにおいて説明する。その際、実習参加費の一部として一人10,000円を徴収する。ガイダンスの日程等は別途メールにて通知する。メールは大学ドメインのメールアドレス宛に送信する。携帯電話に転送設定し、定期的にメールをチェックする、などの準備をしておくこと。 実習の運営に支障があるため、無断でガイダンスを欠席した場合、当該者を参加者リストから自動的に除外する。 定員に空きがある場合のみ、後期の履修登録変更期間中に履修希望者を追加募集する場合があるが、卒業単位認定の時期を過ぎるため、4年次の履修は原則的に認めない。			備考(教員メッセージ含む)		実習日誌と手引きに基づいて課題レポートが要求される。							
オフィス・アワー	随時：坂口（大学院棟3F教官室1）事前にメールでアポイントをとること。tsakaguc@nifs-k.ac.jp												
授業計画													
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)							
1	坂口 俊哉 高橋 仁大 日下 知明	スキー学習における基礎的な用語、理論、指導方法を学ぶ。また、用具の取り扱い、雪上での準備運動の方法、滑走方法を学ぶ。				学習した内容の振り返りのために、実習日誌への記入を行うこと。（60分）							
2	〃	講義1：雪国の暮らし スキーの歴史や、その背景にある自然環境に対する理解を深めることを目的とした講義				講義の感想を日誌にまとめる（60分）							
3	〃	講義2：スキー技術 スキーの技術、専門用語について学ぶ。				講義の感想を日誌にまとめる（60分）							
4	〃	講義3：スキーとツーリズム ニセコ、妙高高原などインバウンドの獲得を目指した最新の動向について学ぶ				講義の感想を日誌にまとめる（60分）							
5	〃	〃											
6	〃	〃											
7	〃	〃											
8	〃	〃											
9	〃	〃											
10	〃	〃											
11	〃	〃											
12	〃	〃											
13	〃	〃											
14	〃	〃											
15	〃					レポート作成（120分）							

授業科目名 (ナンバリングコード)	アウトドアスポーツ実習（冬季）（変更時） (133A0-4217)		授業形態	実技		授業科目区分		専門科目 (関連実技科目)					
担当教員名	坂口 俊哉・末 定・高橋 仁大・日下 知明					補助担当者名							
単位数	1 単位		履修年次	2年次		受け入れ人数		50名程度					
授業の概要	COVID-19の感染拡大状況などを判断して、予定通りのプログラム実施が困難であると判断した場合の変更プログラムである。 この実習では、1泊2日のソロキャンプ（一人で活動・宿泊するスタイルのキャンプ）を実施する。 キャンプの実施前には、テントの設置方法、調理方法、道具の使い方など、キャンパススキルに関する講義演習を7回行う（状況によって、対面、オンラインを使い分ける） 実習参加費（食費として3,000円程度）が必要。 現時点では3月中の実施を予定している。実習日程は受講人数によって調整するため、現時点では未定である。												
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法									
	D Pで 目指す 資質・ 能力	実技力、事業運営力、リーダーシップ (実技力、コミュニケーション力、一般教養・倫理)	授業期間				定期 試験	その他	割合 %				
			授業	テスト	レポート	発表							
		■認知的領域	実習内容に対する理解 より実践的な指導に必要な専門的知識を身につける ソロキャンプの企画・計画が立てられる	○		○							30
		■情意的領域	野外活動の楽しみを理解し、積極的に取り組む姿勢を身につける ソロキャンプの楽しみを他者と共有できる	○		○							50
■技能的領域	実践体験を通じて、キャンプの支援方法を習得する ソロキャンプの準備、実施ができる	○		○					20				
成績評価の基準	実習参加前後でのレポートに対する評価、実習での参加状況の評価から総合的に評価する。 特に、実習前に実施される講義内で説明される内容についての理解と、それに基づいた計画書類の作成が評価の対象となる（60％）。 また、実習後に提出する課題（動画の撮影・編集と提出）も評価の対象となる（40％）												
テキスト、教材 参 考 書	メスティンBOOK, 山と溪谷社, 2020. ￥1,320 メスティン自動レシピ, 山と溪谷社, 2019. ￥1,430 山と食欲と私（Bunch Comics）, 信濃川日出雄, 現在12巻まで ゆるキャン△（まんがタイムKRコミックス）, あfろ, 芳文社, 現在10巻まで ブッシュクラフト-大人の野遊びマニュアル-サバイバル技術で楽しむ新しいキャンパススタイル, 川口拓, 誠文堂新光社, ￥2,750 アウトドアテクニック図鑑, 寒川一, 池田書店, ￥1,320. グリーンウッドワーク 生木で暮らしの道具を作る, 久津和雅, 学研プラス, ￥2640.												
履修条件・ 関連科目	実習参加費（食費として3,000円程度）が必要です。 授業のオリエンテーション、日程等については、WebClassによるメール、掲示によって別途通知します。実習の運営に支障があるため、無断でガイダンスを欠席した場合、実習への参加を認めない場合があります。メール、掲示板の見落としがないように注意してください。 関連科目として、野外活動1・2を合わせて履修することで、野外活動のスキルアップが期待されます。		備考(教員メッセージ含む)		当日の天候によってプログラムが変更される可能性があります。事前の十分な準備によって計画通りの実習が実施できる体制を整えてもらいたいと思います。 日常生活では体験できないことにチャレンジする意欲を持って積極的に取り組んでもらうことを期待しています								
オフィス・アワー	随時：坂口（大学院棟3F 教官室1）、事前にメールでアポイントをとると確実です。tsakaguc@nifs-k.ac.jp												
授業計画													
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)							
1	坂口 俊哉 日下 知明	ガイダンス：コロナ対策の方針とソロキャンプ				動画配信サイトなどで「ソロキャンプ」をキーワードとして動画を検索、視聴してソロキャンプに必要な「道具」のリストを作成すること（60分）							
2	〃	ソロキャンプの道具について				動画配信サイトなどで「ソロキャンプ」などをキーワードとしてソロキャンプにおける食事メニューや調理方法を確認する。3食分のメニュー、食材、調理用具をリストアップしておくこと。（120分）							
3	〃	食事・調理について				これまでの授業の内容を参考に、1泊2日（3食分）の行動について必要な機材・用具をリストアップしておくこと（90分）							
4	〃	備品リストの作成と借用願				動画撮影のための機材（カメラ、携帯電話の固定方法、バッテリー、アタッチメントレンズなど）について、編集の方法と編集ソフトの選択、タイムラプス機能など）について予習しておくこと（60分）。自己紹介のビデオを作成して提出すること。							
5	〃	ビデオ作成の方法とレポート作成				キャンプの課題（コンセプト、目標）を決めること。キャンプの達成目標を箇条書きにしておくこと。メイン課題の内容を具体的に決定しておくこと。計画書をWebclassに提出しておくこと。提出した計画書は履修学生全員が共有する（60分）							

6	〃	キャンプ計画の提出に向けた作業	物品リスト、借用書を完成させて提出すること. そのリストに基づいて次回は物品の準備を行う(60分)
7	〃	ソロキャンプに向けた最終確認	実習本番への予習課題：食材を含めた総費用（物品の購入も含めた）を品目別に報告できるようにまとめておくこと(60分)
8	〃	実習	
9	〃	〃	
10	〃	〃	
11	〃	〃	
12	〃	〃	
13	〃	〃	
14	〃	実習	
15	〃	実習	